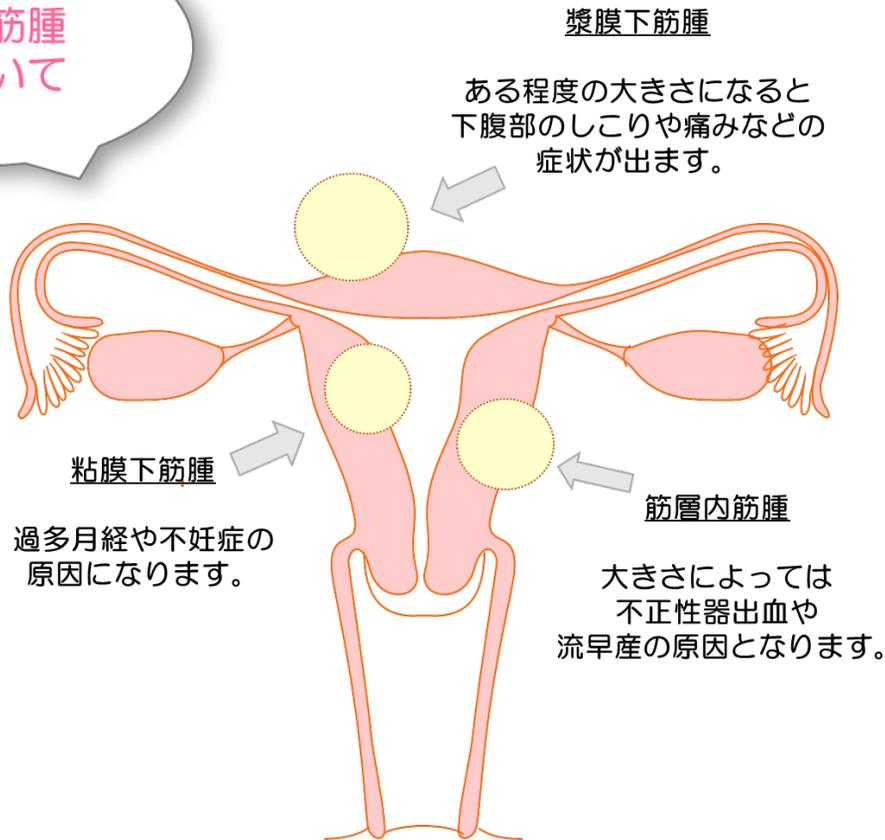


子宮摘出の手術が 必要と言われた方へ

体への負担が少ない
ロボット支援手術
をご存知ですか？



子宮筋腫 について



子宮筋腫は、小さなものも含めると30歳以上の女性の2~3割にみとめる良性の腫瘍です。

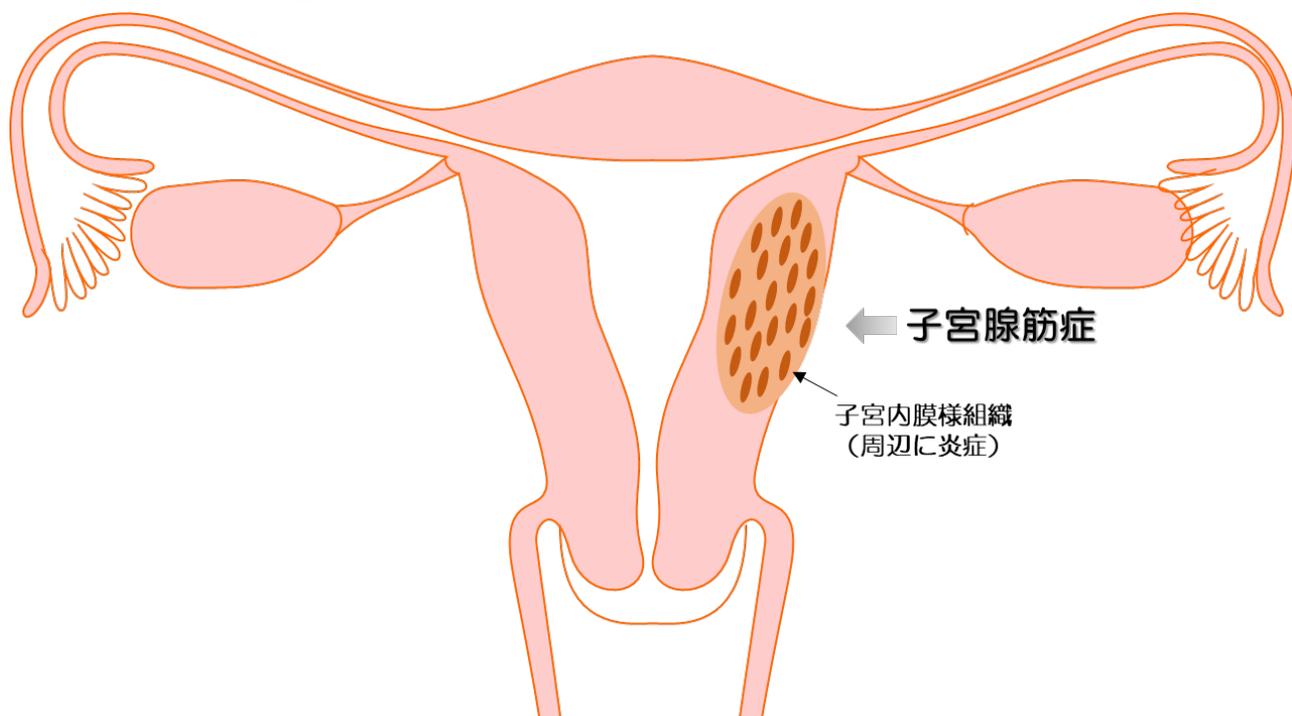
症状としては、生理の量が多くなったり、痛み（生理痛・腰痛）や不妊症などがあります。

子宮筋腫は、卵巣から分泌される卵胞ホルモンによって大きくなります。

大きさやできる場所によって症状が変わってきます。

子宮筋腫のできる場所によって
子宮の内側（粘膜下筋腫）
子宮の筋肉の中（筋層内筋腫）
子宮の外側（漿膜下筋腫）
に分けられます。

子宮腺筋症 について



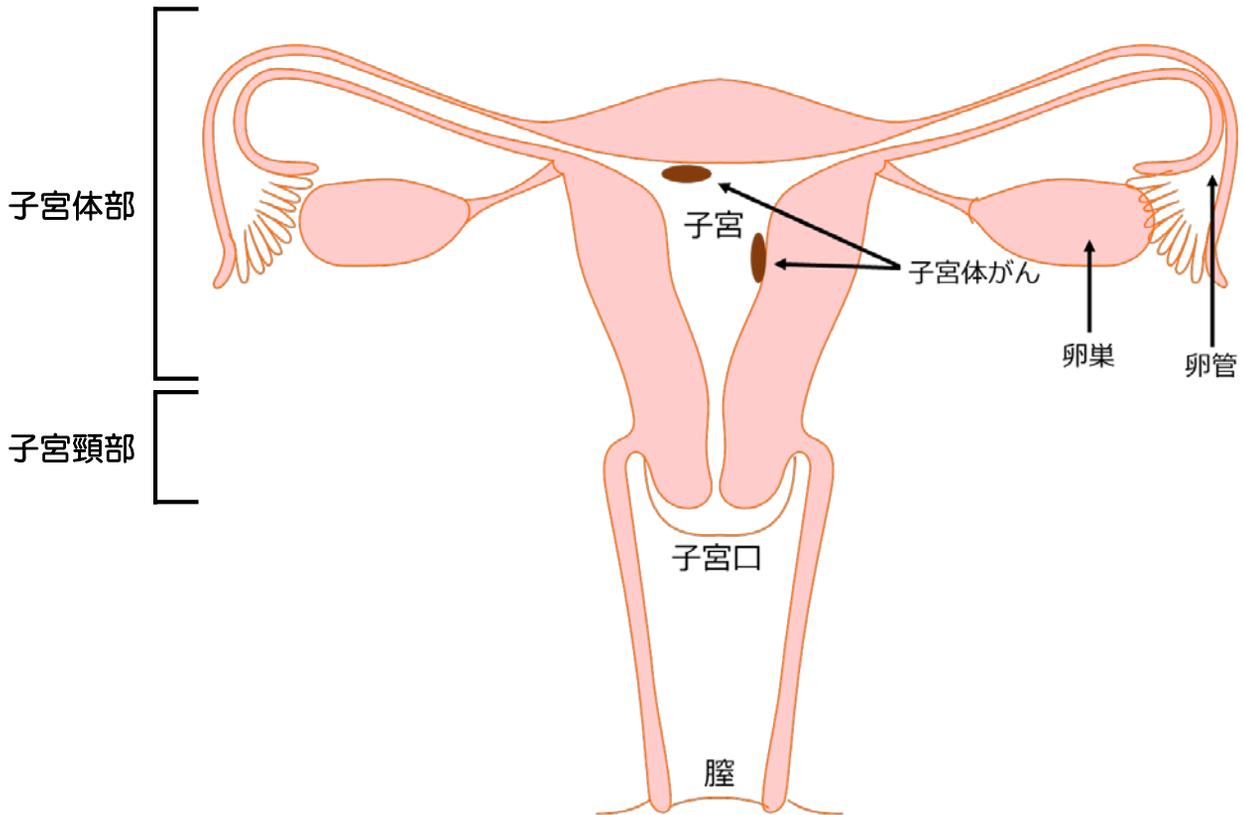
子宮内膜に似た組織が子宮の筋肉の中に出る病気で、
症状としては、生理の量が多くなったり、
痛み（生理痛・腰痛）や不妊症などがあります。

卵巣から分泌される卵胞ホルモンが子宮腺筋症の病変を増悪
させますので、生理がある間は、症状が進行していきます。

子宮腺筋症は子宮の筋肉に炎症を起こして厚くする為
子宮全体が著明に肥大することもあります。

また、子宮筋腫や子宮内膜症を合併することもあります。

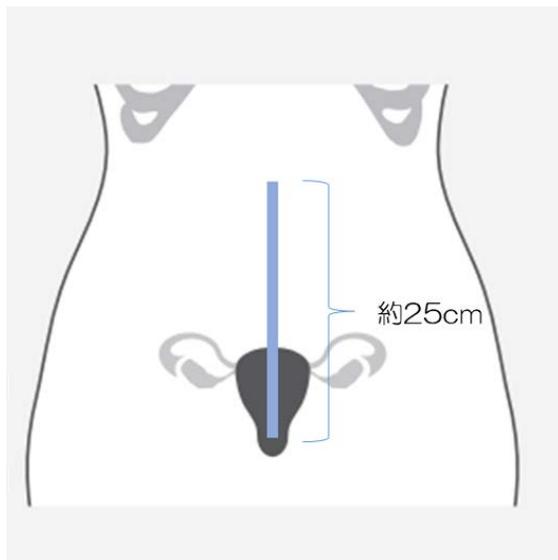
子宮体癌 について



子宮は妊娠した時に赤ちゃんを育てる部分とお産の時に産道の一部となる部分に分けることができ、それぞれを子宮体部、子宮頸部といいます。

子宮体がんとは、子宮体部の内側にある子宮内膜に卵巣から分泌される卵胞ホルモンが作用して発生するがんであり、最近我が国の成人女性に増えてきているがんのひとつです。

子宮摘出における 手術の方法



■開腹手術

メスでおなかを切り開いて手術を行います。

比較的短時間でオペを終える事ができます。

一方で、手術時の出血が多くなる事、術後の傷の痛みの回復に時間を要したり、傷跡が大きく残ったりする為患者さんの身体への負担が大きくなることもあります。

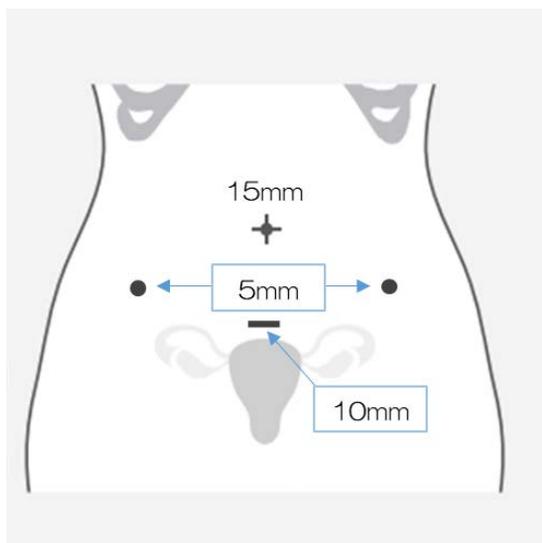
■腹腔鏡手術

おなかに穴を開け、腹腔鏡（カメラ）や鉗子を入れて行う手術です。

摘出した子宮は、膣から取り出します。子宮の大きさによっては、下腹部に小切開を行い、そこから取り出します。

開腹手術と比べ、術後の痛みや傷跡の大きさは小さくなります。

一方で、鉗子は棒状の直線的な物の為操作できる可動範囲に制限があります。



■ロボット支援下手術

専門の資格を持った執刀医が
ロボットを操作して行います。

福岡大学病院では『ダビンチ』と言う
ロボットを使用しています。

開腹手術と比べ、傷の痛みや傷跡は小さく
なり、腹腔鏡手術では可動制限のある角度も、
手首と同じ動きを手振れ防止機能と併せて
再現できるロボットでは、正確に処理できる
可能性が高くなります。



ロボット支援下手術
について

■傷口が小さい

⇒開腹手術と比べ、切開する大きさが格段に小さいです。

■術後の痛みが少ない

⇒傷口が小さく、より低侵襲に手術を行う為の工夫も搭載されて
います。

■手術中の出血量が少ない

⇒細かい動きを再現できる為、腹腔鏡と比べても出血量が少ない
という試験結果も多くあります。

■術後の回復が早い

⇒身体への負担が少ない分、早期回復を見込める可能性があります。
合併症や在院日数を減らすことができたデータもあります。

ロボット手術って
どんな手術？

ロボットが勝手に動くわけではなく、あくまで専門の資格を持った医師の手の動きを、ロボットが精緻に再現してくれる手術です。

患者さんの傍にも専門の資格を持った医師がつき
患者さんの状態をみながら、手術のサポートや鉗子の交換を行います。

下図は、オペ室内のイメージです。

福岡大学病院では、ダビンチの中でも最多の機能を備えた
ダビンチXiを使用しています。



ご質問や心配事が
ございましたら
何でも聞いてください！



監修：福岡大学医学部 産科婦人科学教室
主任教授 宮本 新吾
診療教授 四元 房典